

神戸市内地域組織基礎調査結果について（速報）

調査の目的

前回の調査（令和元年度）以降、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、対面での活動が制限されたり、感染防止対策が必要となるなど、地域活動の実施にあたっては様々な工夫をされるとともに、様々な地域課題への対応や、デジタル技術の活用等、新たな取組にもチャレンジされていると考えられる。そこで、地域組織の活動に携わっておられる市民の取り組みや感じておられることを把握し、今後の施策に活用する。

調査対象

下記の5種類の団体を対象とする。

- ・自治会
- ・婦人会
- ・ふれあいのまちづくり協議会
- ・まちづくり協議会
- ・NPO法人

調査方法等

調査方法	調査対象団体の代表者に調査票を郵送配付し、郵送で回収した。 ※調査票は団体ごとに作成し、共通項目と個別項目を設けた
調査期間	令和4年10月11日（火）～11月11日（金）

回収状況

	発送数	未着数	有効発送数	有効回収数	回収率
自治会	2,227	9	2,218	1,329	59.9%
婦人会	91	0	91	67	73.6%
ふれあいのまちづくり協議会	192	0	192	142	74.0%
まちづくり協議会	59	4	55	36	65.5%
NPO法人	746	31	715	298	41.7%
合計	3,315	44	3,271	1,872	57.2%

目次（団体比較）

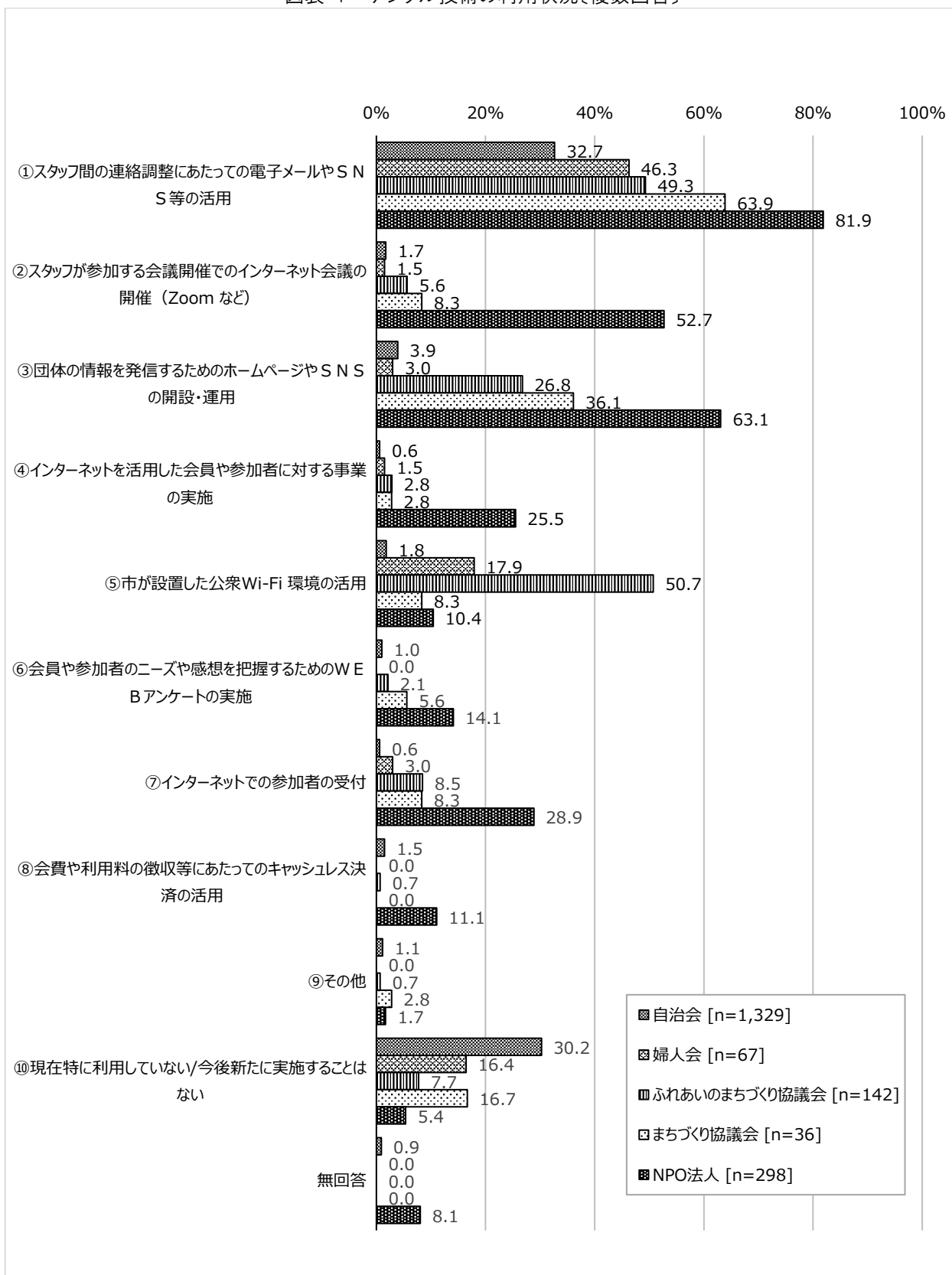
- (1) 調査概要
 - ① 調査の目的
 - ② 調査対象
 - ③ 調査方法等
 - ④ 調査の対象と回収状況
- (2) デジタル技術の利用
 - ① **デジタル技術の利用状況**
 - ② 今後新たに活用したいデジタル技術
 - ③ デジタル技術活用のために市に求める支援
 - ④ デジタル技術活用のために参加したい講習会
- (3) 他団体との連携・協力
 - ① **既に連携している団体**
 - ② **新たに連携したい団体**
- (4) 活動を進めていくための課題
 - ① **コロナ禍での活動で苦勞していること**
 - ② 活動を進めていくための課題（人材面）
 - ③ 活動を進めていくための課題（運営面）
 - ④ 活動への住民の参加状況の課題
 - ⑤ 地域住民への情報伝達における課題
- (5) 団体が活動している地域の状況等
 - ① 住民の居住年数の特徴
 - ② 住民同士の交流の状況
 - ③ 住民による地域活動の活発さの状況
 - ④ 活発になっている理由
 - ⑤ 以前に比べて活発でなくなった理由
 - ⑥ 活動している地域の課題
 - ⑦ **課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なこと**
- (6) 今後の活動に向けて
 - ① 活動の現状についての満足度
 - ② 団体が担う役割の今後についての考え
 - ③ 団体の活動を活発にしていくために必要なこと
 - ④ 市に相談したいことや支援を希望すること
- (7) 代表の活動状況
 - ① 代表（回答者）の状況
 - ③ 代表の選出方法
 - ④ 代表の任期や定年の定め
 - ⑤ 代表になってからの年数
 - ⑥ 地域活動のための月間活動日数

- ⑦ 地域活動の担い手として参加したきっかけ
- ⑧ 地域活動に参加してよかったこと
- ⑨ 会長として特に感じる負担

(2) デジタル技術の利用

① デジタル技術の利用状況

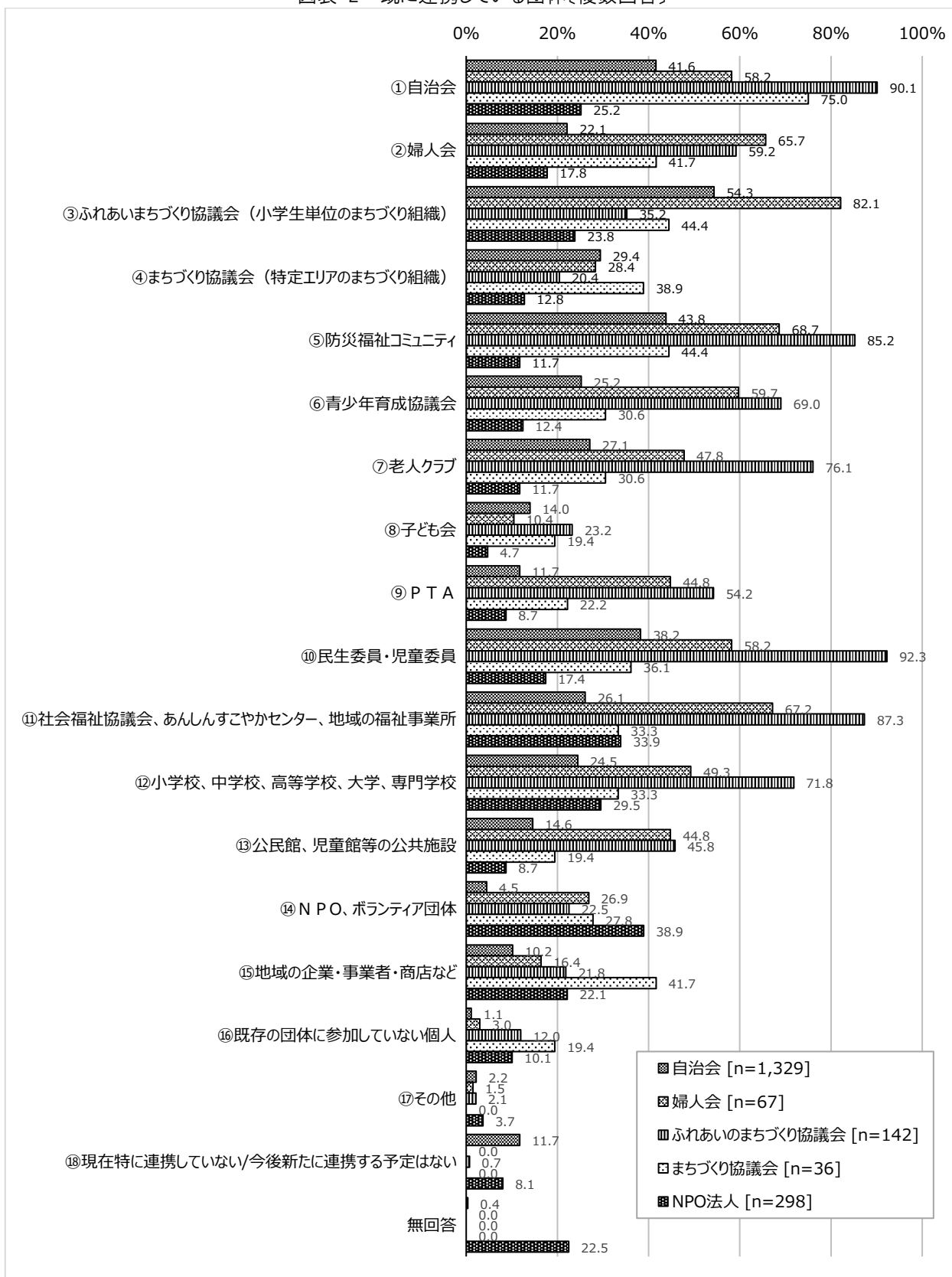
図表 1 デジタル技術の利用状況〔複数回答〕



(3) 他団体との連携・協力

①既に連携している団体

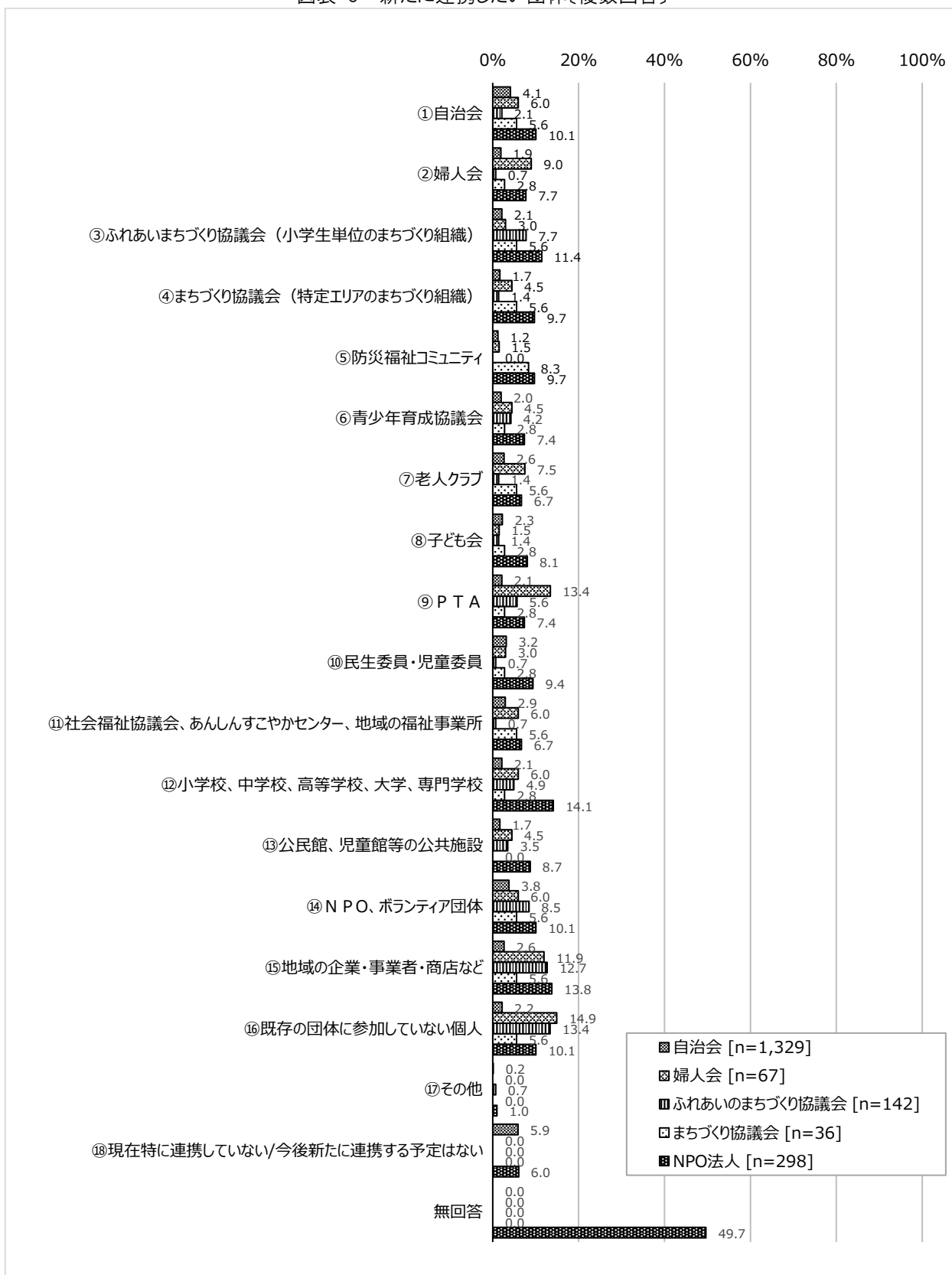
図表 2 既に連携している団体〔複数回答〕



(3) 他団体との連携・協力

②新たに連携したい団体

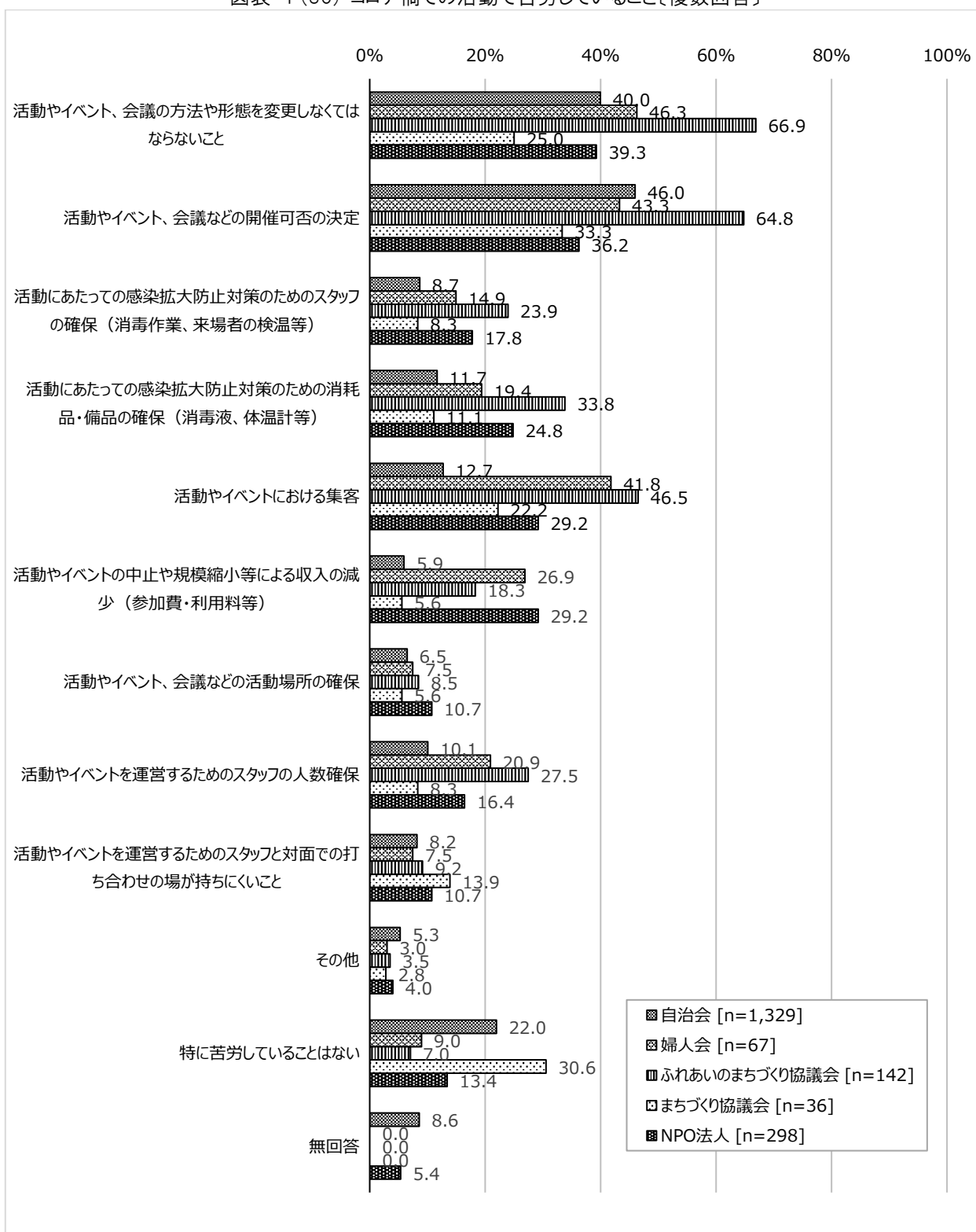
図表 3 新たに連携したい団体〔複数回答〕



(4) 活動を進めていくための課題

① コロナ禍での活動で苦労していること

図表 4 (80) コロナ禍での活動で苦労していること〔複数回答〕



(5) 団体が活動している地域の状況等

⑦課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なこと

図表 5 課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なこと〔複数回答〕

